

検査前に必ず下記の事項を読み、署名をお願いします。

## 同意書

### 【胃がん検診の目的と方法】

胃がん検診は、症状がない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われています。その方法には、バリウムを用いる方法（胃 X 線検査）と内視鏡を用いる方法（胃内視鏡検査）があり、いずれもその効果が証明されています。また両者の方法には良いところと悪いところがあります。

### 【胃内視鏡検査の方法】

口または鼻から胃内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸の一部を内腔から観察し、病気を探します。

また、色素を散布して、病変を見やすくすることがあります。

なお、生検が行われた場合、生検については保険診療として別途請求があります。当日は健康保険証を持参してください。また、生検により粘膜に傷ができますので、検査後当日の食事は軟らかい消化の良いものを食べてください。過激な運動、長湯、旅行などは避けてください。

### 【偶発症】

偶発症として胃内視鏡検査では、以下の偶発症が起きる可能性があります。

- 1) 胃内視鏡により粘膜に傷がつくことや、出血、穿孔（穴があくこと）
- 2) 生検により出血、穿孔
- 3) 麻酔薬等薬剤によるアレルギー（呼吸困難、血圧低下など）
- 4) 検査前からあった疾患の悪化（症状の出ていなかった疾患も含む）
- 5) 鼻からの内視鏡検査の場合、鼻出血

なお、当施設では偶発症の防止のために十分な注意を払うとともに、偶発症が発生した場合には最善の対応をいたします。

上記の事項について、十分に理解しましたので、その実施に同意します。

平成 年 月 日

受診者署名

受診者代理署名

(続柄)

検診実施医療機関・医師名